

平安時代のロマンスと古代信仰のふるさとを巡る

醍醐天皇誕生へとつながる藤原高藤と宮道列子のめぐりあい、小野小町を慕う深草少将の百夜通い、巨石への素朴な自然崇拝など、平安人のロマンスや古代人の信仰にふれることができる史跡を訪ねます。

【交通案内】 地下鉄東西線小野駅下車・出口①
 【順路】 距離 6 km

地下鉄小野駅 ⇒ 勸修寺 ⇒ 仏光院 ⇒ 宮道神社 ⇒ 随心院 ⇒ 歓喜光寺
 8分 2分 1分 8分 18分
 ⇒ 大宅一里塚 ⇒ 岩屋神社 ⇒ 陰岩・陽岩 ⇒ 京阪バス大宅車庫
 9分 8分 10分 18分



勸修寺の蓮



1 「勸修寺(かじゅうじ)と醍醐(だいご)天皇」
 醍醐天皇(885~930)が900(昌泰3)年に創建した寺院。境内には平安時代の姿をとどめる庭園、書院、宸殿、本堂などがあります。『今昔物語』には醍醐天皇の生母藤原原子(ふじわらのたねこ)にまつわる藤原高藤(ふじわらのたかふじ)と宮道列子(みやじのつらこ)のロマンスが記されています。

2 「仏光院(ぶつこういん)」
 身体障害者福祉活動に尽した大石順教(じゅんきょう)尼が1947(昭和22)年に創建した寺院。もとは大阪の芸妓でしたが、両腕を失う事故に遭いながらも口に筆を含んで書画に精進し、多くの人を才づけました。

3 「随心院(すいしんいん)とはねず踊り」
 六歌仙のひとり小野小町の邸宅跡と伝えられている寺院。小町を慕う深草少将の百夜(ももよ)通い伝説にちなみ、梅が咲き誇る3月末には、はねず色(薄紅色)の小袖を着た少女たちが踊る「はねず踊り」が催されます。

4 「歓喜光寺(かんきこうじ)」
 時宗(じむね)の開祖一遍(いっぺん)上人の弟子、聖戒が開基。寺宝に「一遍上人絵伝」(国宝)があり、鎌倉時代の風俗・建築などを知るうえで大変貴重な美術工芸品となっています。国宝・現物は国立博物館に保管されています。

5 「大宅(おおやけ)一里塚」
 一里塚は街道の両側に一里(約4km)ごとに土を塚状に盛った目印で、現在の道路標識のようなものです。江戸時代には有用であったこの塚も、今日ではそのほとんどが消滅し、市内で唯一の史跡となっています。京都市史跡(登録)

6 「岩屋神社と陰陽岩」
 (いんようがん)
 区内でも古い神社のひとつで、本殿背後の山中にある巨大な陰岩と陽岩をご神体としており、古代の磐座(いわくら)信仰の姿をよく伝えています。昔、この岩から水が沸き出し村の水田を潤していたと伝えられています。

H
 コース

17

18

